

令和５年度 民主・市民の会 報告書

1 開催年月日

令和５年８月１８日(金)～１９日(土)

開催地

東京都/国立オリンピック記念青少年総合センター

2 研修会参加

【１日目】

第１５回全国政策研究集会 ２０２３ IN 東京

「自治で創る命の安全保障」

○基調講演「自治体からの平和提言」

廣瀬克哉さん（法政大学総長）

○シンポジウム

「市民の命に責任を持つ 一番身近な政府から」

保坂展人さん（世田谷区長）

岸本聡子さん（杉並区長）

平尾道雄さん（米原市長）

○分科会

１．地方議会を討論の広場に ～北海道栗山町議会の実践に学ぶ～

２．コロナ禍と物価高騰での困窮のリアルと生活保障

【２日目】

○分科会

３．気候危機対策待ったなし！自治体からの取組みこそが重要

４．すすめよう！子育て支援 必要なの？少子化対策

3 参加議員名

・佐々木 聖子

・吉 田 美幸

4 報告書

・別紙のとおり

【基調講演】 「自治体からの平和提言」

目的/危機を迎える平和をめぐる状況に自治体でできること、地方分権をすすめるためのヒントを得る

■まとめ

- ・自治体は、国の「国民の生命に対する責任」と質的に違う、観念や数字でなく顔のある生命への責任を負っている
- ・市民の生命を守る仕事から撤退することは許されないが、効率性を高める改革は必要
- ・人手の絶対数は代替えの効かない不可欠の資源であり、絶対数を欠くことは地域の存続に直結する
- ・政策運営の方向性について市場部門に遅れを取っていないかの点検を進めているか
- ・地域社会の存続を維持していく最低限のエネルギーと食料を、できるだけローカルに確保していくことの意義
- ・「新住民」の多くは居住地の選択そのものが「消費者」としての商品選択で、自治体の提供する公共サービスについても消費者感覚の人が多いが、重大な危機に直面したときに、安全・安心を消費する人では無く、ともにつくっていく人が不可欠である
- ・消費者としての商品選択のための情報ではなく、当事者としての判断のための情報が重要であり、当事者の納得にもとづく政策判断の可視化の中で、判断の根拠が腑に落ちることを通しての「自分の役割」の重要性と不可欠さの認識を変えていく環境作り

【シンポジウム】 「市民の命に責任を持つ 一番身近な政府から」

テーマ/市民の命はコロナ危機や気候危機そして戦争の危機の中で脅かされています。

市民の命に責任を持つ一番身近な政府である自治体のリーダーが「自治で創る命の安全保障」について討論を行う

■内容/滋賀県米原市の「平和の礎」建立事業、原子力防災対策の取組み「安定ヨウ素剤の服用に関するチェックシートおよび服用に関する同意書の提出について」と、東京都世田谷区の独自の、「新型コロナウイルス感染症における検査取組みについて」の報告

【分科会】

1. 地方議会を討論の広場に ～北海道栗山町議会の実践に学ぶ～

- 全国初の議会基本条例で、住民と情報交換をする「一般会議」の開催を議会に義務づけたことにより、議会と住民の連携による「新総合計画」に対案を議会に提出し議決された件についての報告

2. コロナ禍と物価高騰での困窮のリアルと生活保障

- コロナ禍で可視化されたこと「女性の貧困・若者の自殺・フリーランスの雇い止め、仕事のカット・ペット同伴対策」等に、圧倒的に公的支援が少ない状況
- 東京都豊島区の空き家利活用とひとり親の居住支援の同時解決を実現する「ひとり親向けシェアハウス」の取り組み報告

3. 気候危機対策待ったなし！自治体からの取り組みこそが重要

- 講演「災害に強く健康にも資する住宅を全ての人に」

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 / 准教授 前 真之 さん

- ・電気代の高止まりを覚悟して電気の消費量を減らす、本気の対策が必要な時代に
- ・地域のエネルギーを循環させれば、みんなが豊かになる
- ・これからは自治体が脱炭素の主役の時代に

- 神奈川県川崎市の脱炭素かわさき市民会議の経験をベースに、「気候市民会議の意義と取り組みの状況」についての報告

4. すすめよう！子育て支援 必要なの？少子化対策

- 講演/NPO 法人パートナーシップながれやま 代表理事 青木 八重子 さん

- ・少子化の現状、少子化対策の変遷について
- ・人口増加の取り組みー千葉県流山市の事例ー

※子育てを助け会える仲間がいる、子育て当事者の市民活動が活発

- ・他市の事例

※北海道芽室町/スペシャルニーズのある子どもと家庭への支援、全ての子どもの成長を記録するサポートファイル

※北海道北見市/母子家庭、障がい者、高齢者、学生等が共に暮らす共生型施設

■まとめ

「子育て支援は少子化対策ではない」

- ・子育て支援は、出生増につながらない
- ・子育て支援は、私たちの幸せのため
- ・子ども政策には、ジェンダー平等が極めて重要である

以上

